

秋田大学 男女共同参画推進室

# coloconi

～ □ □ □ □ ～

## 総括責任者 学長 吉村 昇

秋田大学の運営理念は、「教育」「研究」「社会貢献」「国際化」「経営」という5つの吉村プランに基づいています。そのうちの「経営」の理念では、秋田大学は公的支援の下、社会の要請に応える自律的な知の経営体として、そして北東北の基幹的高等教育・研究の場として、限られた予算と資源を活用し、事務組織の再編・合理化をすすめて、責任ある執行体制の構築、公平性、信頼性の確保された大学経営を担う人材の育成を図ることになっています。

秋田大学における男女共同参画の取り組みは、いわば秋田大学の運営理念を象徴する取り組みの一つとして今後の秋田大学の真価を問われるものでもあります。平成21年度に文部科学省科学技術振興調整費(女性研究者支援モデル育成)を獲得し、「大学間連携と女性研究者支援 in 秋田」のテーマで採択されました。これを機に、秋田大学では平成20年3月に策定された男女共同参画推進のためのアクションプランを実施し、より具体的で持続可能な運営体制を構築し、女性研究者が働きやすい職場、安心して働ける職場づくりを目指しています。

女性の社会進出・活躍が求められている現代において、本学がワークライフバランス推進のためのモデル的職場となるように、教職員皆様方のご理解と積極的な関わりを期待して、ご挨拶とさせていただきます。

## 実施責任者 渡部 育子

秋田大学での男女共同参画に係わる取り組みは、平成17年2月の「男女共同参画推進委員会」「男女共同参画推進専門委員会」の設置以来、着実に成果をあげてきました。平成19年度には「秋田大学男女共同参画推進のためのアクションプラン」を策定し、ポジティブアクションとワークライフバランスの実現のために検討を重ね、平成21年5月14日、念願の男女共同参画推進室が開設されました。平成21年度科学技術振興調整費・女性研究者支援モデル育成プログラムに採択されたことは、さらなる発展のきっかけとなるものと考えられます。

「大学間連携と女性研究者支援 in 秋田」では、多様な勤務形態における研究活動の実現、女性研究者数と比率の増加、育児・介護休業の取得しやすい職場環境の構築、ワークライフバランスの改善、次世代女性研究者の育成などに取り組みます。本プロジェクトが本学および秋田県的高等教育機関での女性研究者支援体制の進展に寄与できますことを祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。



平成21年度文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業  
秋田大学「大学間連携と女性研究者支援 in 秋田」

振興調整費

# 「大学間連携と女性研究者支援 in 秋田」

## ■プロジェクトの概要

本プロジェクトは、秋田大学女性研究者の研究環境の整備と、本学を拠点とする県内大学間連携による女性研究者支援の地域社会への還流を目的とするものである。

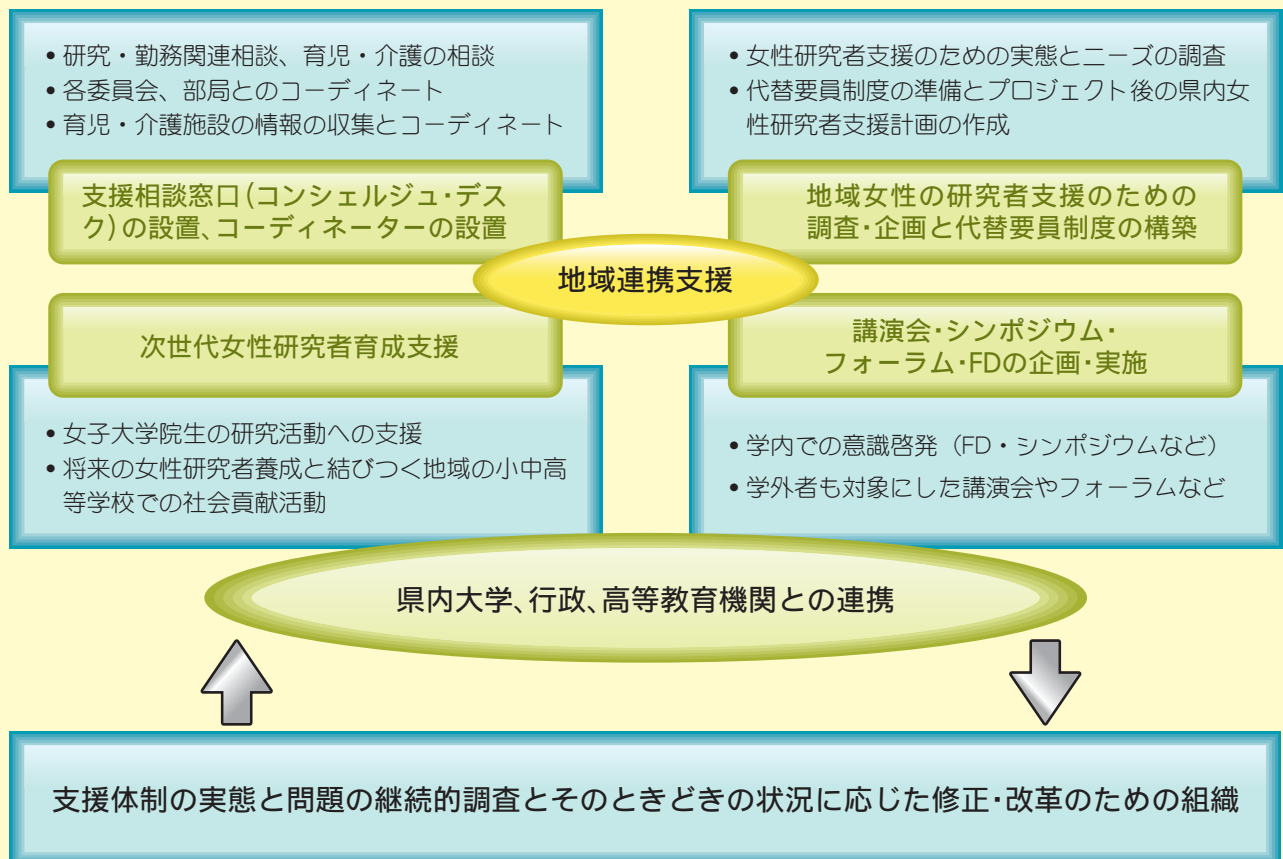
- 支援相談窓口を設置、コーディネーターを配置し、育児・介護等について柔軟な支援を行う。
- 秋田県内の大学と連携し、地域の女性研究者支援のための調査を実施し、代替要員制度を確立する。
- 女子大学院生に対する支援と、特に理工系女子育成のためのロールモデル事業を行い女性研究者の裾野の拡大を図る。
- FD・シンポジウム等を実施し、意識啓発を図る。

## ■ミッションステートメント

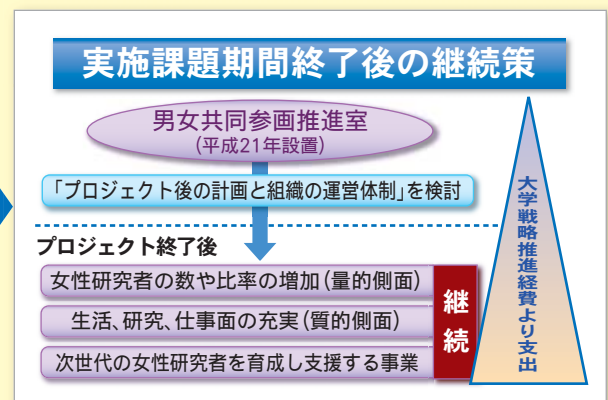
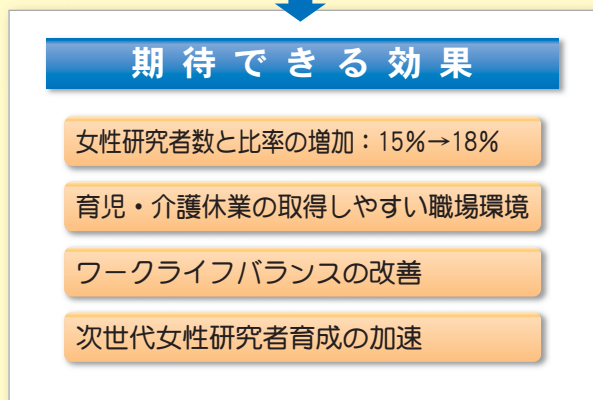
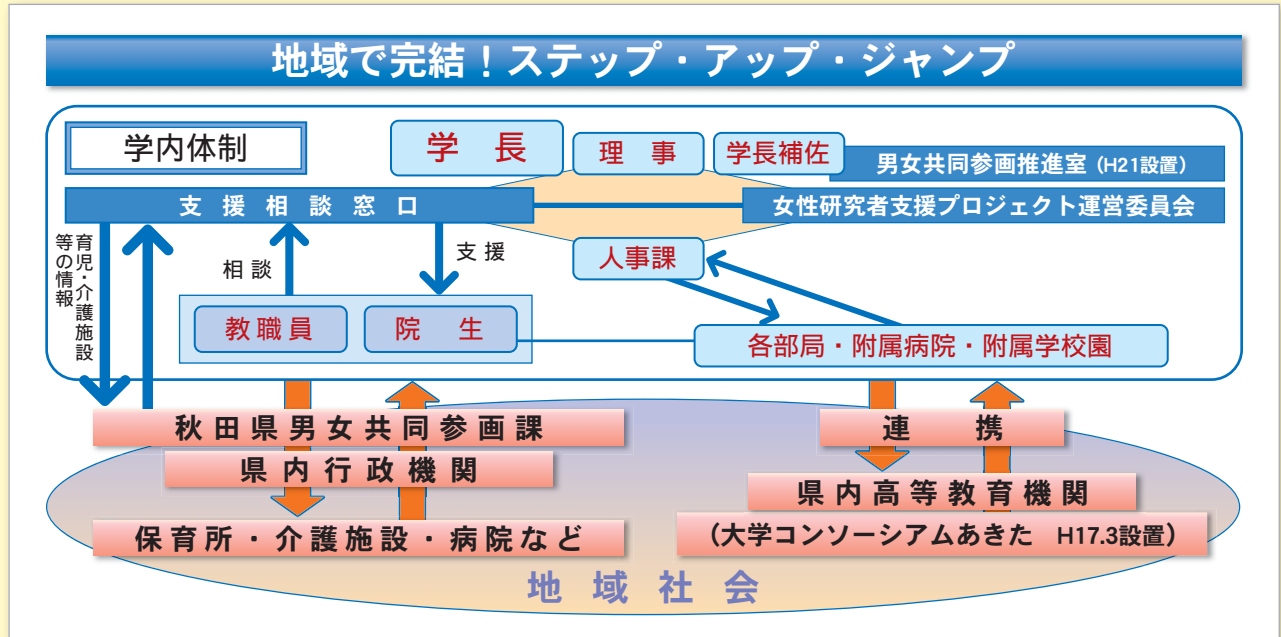
- 5年後に女性教員比率20%を目標。
- 3年後に女性研究者比率25%を目標。
- 自然科学系女子大学院生比率30%目標。
- 自然科学系分野、特に工学資源学部における女子学生比率の増加。
- 「休業を取得しやすい雰囲気」と回答する率の改善。
- 「男女共同参画推進のためのアクションプラン」と休業制度の周知徹底。
- 県内大学間女性研究者支援システムの構築。



## ■実施内容



## ■実施体制



## ■女性研究者支援モデル育成プロジェクト運営委員会

氏 名	職 名
渡 部 育 子	学長補佐(男女共同参画担当) 教育文化学部 教授
四反田 素 幸	教育文化学部 教授
和 泉 浩	教育文化学部 准教授
奥 山 順 子	教育文化学部 准教授
阿 部 寛	医学系 研究科 教授
妹 尾 春 樹	医学系 研究科 教授
金 子 善 博	医学系 研究科 准教授
鈴 木 圭 子	医学系 研究科 准教授
上 村 佐 知 子	医学系 研究科 助教
中 村 雅 英	工学資源学部 教授
奥 山 栄 樹	工学資源学部 准教授
坪 井 ひ ろ み	工学資源学部 准教授
山 口 留 美 子	工学資源学部 准教授

## ■ スタッフ紹介

### 川畑 智子 コーディネーター／特任准教授

こんにちは。私は、男女共同参画推進室コーディネーターとしてコンシェルジュデスクを担当しています。これまで育児・介護休業制度は「制度はあっても利用しにくい」という声がありました。コンシェルジュデスクは、これを改善するため、働きやすい職場作りをめざして柔軟な支援をしております。休業制度のご利用についてお悩みの方は何でもご相談ください。

### 川村 瑠理 事務系補佐員

大学という特殊な職場で、ワークライフバランスを保つために研究者に必要な支援や、介護・育児休業制度の整備をみなさんと一緒に取り組んでいきたいと思っております。秋田大学がみなさんにとって働きやすい職場となるように、気軽に相談に来られる部屋を目指しています。よろしくおねがいします。

### 黒田 里美 事務系補佐員

秋田大学男女共同参画推進室では、女性研究者をはじめ、あらゆる分野の女性がイキイキと活躍出来るように日々業務に取り組んでいます。今後はさらにワークライフバランスの実現のために様々なイベントや意識啓発活動を行いますので、皆さま、是非ご参加下さい。

### 朝倉 綾加 事務系補佐員

周りに新米ママ・パパの多いアラサーです。介護や次世代を担う「宝」の育成は、周囲の理解と協力がなければ難しいと感じています。仕事と家庭・プライベートが両立できる理想の社会の実現を目指し、様々な活動に取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお祈りします。

### 中川 徳子 事務系補佐員

ある場所で小さな蝶の羽ばたきが、地球上の別の地域の竜巻を起こすように、私たちの小さな活動の積み重ねがいつか大きなうねりとなって、男女ともに働きやすい社会になるきっかけになればいいなと思っております。秋田大学の男女共同参画推進室で、皆さんとともにがんばっていきたくです。

### 菅原 妙子 事務系補佐員

利用してこそこの制度。「でも、その目の前には大きな壁が…」私たちと一緒に壁を乗り越えて、希望を実現させましょう!! 多様化する社会の中で、“自分らしい”ワークライフバランスをしてみませんか! 男女共同参画推進室「コロコニ」には、明るく・優しい・頼りになるスタッフが皆さんのお越しをお待ちしております!

## 「coloconi ~コロコニ~」名称の由来は…



秋田県の花をご存じですか? 秋田県の花は「ふきのとう」です。アイヌ語で「コロコニ」は「ふきのとう」を指します。私たちは雪の中から春を知らせる「ふきのとう」にちなんで、男女共同参画推進室の愛称を「コロコニ」と名付けました。

ちなみに秋田大学の学章も3枚の秋田路の葉に大学の文字を配したものとなっています。



# 秋田大学

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号  
<http://www.akita-u.ac.jp>

編集：秋田大学男女共同参画推進室  
TEL 018-889-2260 FAX 018-889-2219 (平成22年3月まで)  
E-mail : [sankaku@jimu.akita-u.ac.jp](mailto:sankaku@jimu.akita-u.ac.jp)